

いちばん星

第 **★** 8 号
星の郷

発行日 平成19年11月1日
発行 社会福祉法人富士宮福祉会
特別養護老人ホーム星の郷
〒418-0035 富士宮市星山字向原1058
TEL0544-23-3302 FAX0544-24-9564



画 鈴木幸一

皆さんの看護を受けて、命をいただいたことに感謝しています。
美しいものを見ると「あーいいなァ」と思い、絵を描くことに興味を持つようになりました。描いていると心が落ち着き、感謝の気持ちが素直に表現できるものです。
この絵は、本を見ている時に「秋を感じるな」と思い、すぐに描写したものです。

デイサービス 鈴木幸一

在宅介護 支援センター

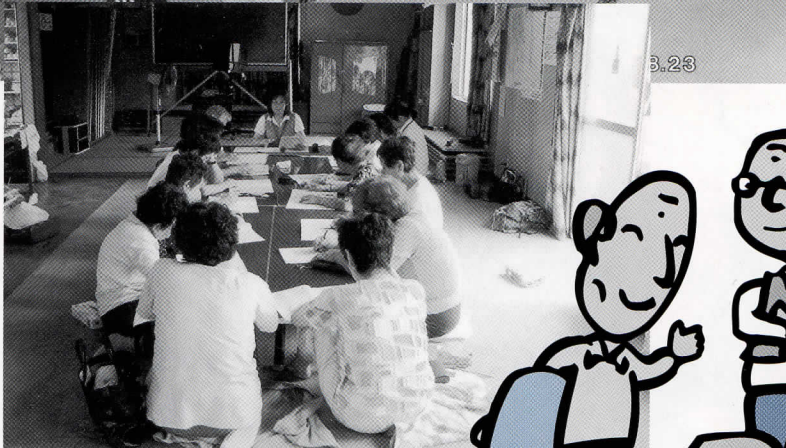


「在宅介護支援センター」
をご存知ですか。

在宅で介護が必要な高齢者や、そのご家族が安心して生活できる様に、お手伝いをしています。

介護保険のご相談や、手続きの代行、福祉サービスの利用相談、福祉用具の相談、又昨年度より、寄り合い処の支援、介護教室、予防教室の開催も行ってあります。

「寄り合い処」は、地域を大きな家



族と考え互いに支え合い、出来る事を、出来る範囲で行う地域の活動拠点としての役割もあります。輪投げ、リズム体操、折り紙、昔なつかしい「おじゃみ」作り、ぬり絵、写経、俳句、カラオケなど、楽しんだ後、お茶を飲みながらいろいろな話に花が咲きます。とても活気のある集いです。



介護教室・予防教室を
開いていきます。



介護教室は、介護保険の話、福祉用具の紹介、栄養面での話、認知症についてなど。又、予防教室では、運動機能向上の為に体操、身体の話、転倒についてなど講義を含めた予防の為の運動も行っています。

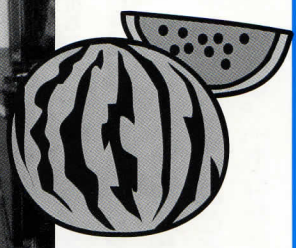
「年だからしょうがない。」「めんどうだから。」と口癖の貴方、機能低下の始まりですヨ。何才になっても、自分らしく、今の生活が継続できる様に、今から介護予防に取り組みましょう。地域で困った事が起きたら、市内七ヶ所あります在宅介護支援センターにご連絡下さい。お手伝いさせていただきます。



夏 デイサービス



“エイ〜”残念



七月 スイカ割り

デイサービスでは夏の季節に合わせて行事を行いました。

みなさん輪になり真ん中にスイカを置き、利用者様に目隠しをして頂きスイカ割りを行いました。カ一杯棒を振り上げ、割ったスイカをみなさんに召し上がって頂きました。

七夕飾り

七夕飾りを行い、みなさんの願い事をきれいな色紙の短冊に書いて頂きました。短冊の内容は健康についてが多かったようです。



手を上に上げながら背あじを伸ばし“あ〜いい気持ち”

八月 おやつ作り

みなさんと一緒にアイスクリームパフェを作りました。今年の夏はとて暑かったのでみなさんとても喜んで下さいました。また、毎月来て下さるレクリエーションインストラクターによる手遊び、歌体操などのレクリエーションの様様を写真で残しました。



普段買い物になかなかこれなくて、今日は欲しい物がいっぱい。あれもこれも“もー迷っちゃう！”



九月 外出レクリエーション

外出のレクリエーションとして百円均一の買い物に行ってきました。所持金が二千円を上限として決め、大きな店の中、沢山の商品を目の前にあれやこれやとみなさん楽しそうに買い物をしていました。

AB ユニット 湧玉 宝永

今回はBフロアを紹介させて頂きます。Bフロアには一年を通じて陽の当たる暖かい場所があり、入所者さまがご飯の後などに三々五々集まっています。お日様が皆様を呼び話に花を咲かせて、とてもほのぼのとした雰囲気になります。入所者さまの表情もとても穏やかで、お話をしていない時も瞳を閉じ静かな時間を過ごされています。窓から外を見ると鳥たちが飛び交い、ツツジの緑が鮮やかでも心とお空間となっています。暑い夏になるとあまり見られなくなる光景なので寂しく感じています。ですが、この広報紙が出る頃には、また皆様が集まって来ていることでしょう。それからT・D様がフロアの中央に置かれたオルガンで、童謡や懐かしい歌を弾いて場を盛り上げて下さいます。入所者さま同志、合唱になったりする事もあります。絵心もある方で前回の「いちばん星」の表紙を飾って下さいました。とても明るい方で、まわりを笑顔にして下さることもすてきな殿方です。Bフロアには認知症のある入所者さまもあられます。認知症のある方は笑顔で問いかければ笑顔で返してくれます。強い口調で何かしら訴えられていても、笑顔でゆっくりと話を聞いていると、不思議と入所者さまもゆつたりとして笑顔に変わっていきます。反対に認知症のない入所者さまには、ことある事に注意を受けます。「あなたはまだまだだね。」と厳しい言葉を頂くこともしきりです。Bフロアは二十名と大所帯ですが、一人一人の歩んでこられた人生をおもんばかりながら、入所者さまの笑顔を引き出せる介護を目指してまいります。

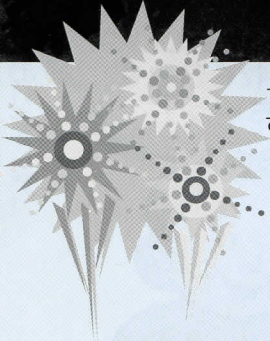


CD ユニット 貴船 木ノ花

七月に花火大会が開かれました。花火大会の日は天気も良く夜空に花火が上がるのに最適な日でした。ご家族の方もたくさん参加され、盛り上がった花火大会になりました。まず手持ち花火から始まり、打ち上げ花火、仕掛け花火と続きました。手持ち花火はご家族と一緒にされている方が多く皆様、笑顔で楽しんでおられました。打ち上げ花火では、色鮮やかな花火が夜空に大きく打ち上げられ皆様、感動しておられました。最後の仕掛け花火では、光の滝が目の前に現れビックリしておられる方もいました。とても幻想的で思い出に残る花火大会になったと思います。



来年はどんな花火大会になるか楽しみです。



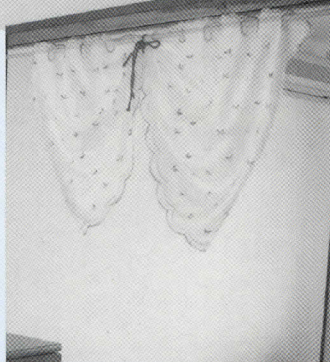
EF 浅間 ユニット 富士

EFフロアでは、七月二十九日(日)今年度第一回目の家族交流会を開催しました。お忙しい中、各入所者さまの御家族総勢十八名の方々が参加して下さいました。

まず各担当ごとに分かれる前に、今回お集りになって頂いた説明をさせて頂き、その後各担当に分かれ、居室作り、お盆の外出、外泊、現在の入所者さまの様子について、各担当よりお話しさせて頂きました。

どの御家族様も真剣に各担当スタッフの話しをお聞きになって下さったり、疑問に思っている事は、積極的に質問して下さいたりしておられる姿が見受けられました。

また、普段面会に来所出来ない為、入所者さまと会話されるご家族様もおられ、短い時間でしたが、楽しまれている姿を拝見出来、スタッフの間でも「この様な機会を計画し良かった」とフロア中笑顔がこぼれました。



参加された御家族様が面会に来所する際、思い出の写真や、のれんを持って来てくださり、除々に居室作りが進み始めてあります。

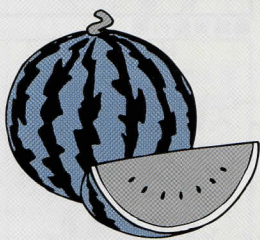
GH 朝霧 白糸 ユニット

敬老の日、今年数えの百歳を迎えられました入所者二名様、県よりお祝いをいただきました。とても百歳とは思えぬ若々しさで、毎日を元気に過ごされており、特に今年の夏は猛暑でしたが、暑さなどなんのその、スイカ割りをし、そうめんをお腹いっぱい召し上がり乗り切って参りました。

スイカ割りと言えば、誰が割ってもビクともしないスイカ「わたしが割る」と、シルバーカーを押し出して来られました入所者さま、棒を持ったかと思えば、おもいっきり棒をスイカめがけて振り下ろしました。スタッフもビックリ、あれ、たしか腰が曲がっていたはずなのに、



いつも「歩けないよ」と訴えていたはずなのに、腰がそり返っているではないか、無我夢中とはこのことか、皆でやっと割ったスイカを、大きな口を開けかぶりついておりました。童心に返りまた一夏の思い出が出来たことと思えます。



食事委員会



『嚥下体操で、飲み込む力をきたえよう』

食事委員会では、ゲスト

の皆様は、「食事をおいしく食べていただきたい」「健康寿命を伸ばしていただきたい。」そんな願いをこめて、「口腔ケアと嚥下体操を、スツプー丸となって徹底して行なっています。」

嚥下体操の目的は、ほつ

ぺた、口唇、舌などの筋力を強化し、食べた物を安全に飲み込む力をつけるものです。この体操は食事の前に行ないます。嚥下と発声は、同じ器管を使っています。発声の訓練をすることで、嚥下（食物の飲み込み）に使う筋肉の機能を高めることができます。

口唇が閉じない人は、口唇音（パ行・バ行・マ行）が不明瞭です。舌によって、食べ物をのどに送り込む力が弱い人は、舌尖音（タ行・ダ行・ナ行・ラ行）が不明瞭です。舌の奥が上がらない人は、奥舌音（カ行・ガ行）が不明瞭で

す。下あごの開閉が悪い人は、母音（ア・イ・エ）が不明瞭です。「パンダのタカラモノ」という発声を、入所者さまに言っている理由は、これら

の音を発声することで、食事の時に使う筋肉をきたえることができるからです。入所者さまに、大きな声で、まず、ゆっくり三回「パンダのタカラモノ」を発声していただきます。そして、次に、早く「パンダのタカラモノ」三回発声していただきます。

おしゃべりが好きな人や、早口言葉を上手に言える人は、日頃から、口まわりの筋肉を知らず知らずにきたえているので、いつまでも、おいしく口から食事を楽しむことができます。そして、嚥下体操のもうひとつの効果は、小顔になれることです。

さあ、みなさんも、入所者さまといっしょに、食事前に嚥下体操を楽しんでやりましょう。

11月に入り、寒い日々が続きますが、星の郷職員一同、元気いっぱい働いています。暖房の効いたフロア内で働くのはとても大変なのですが、入所者さまを第一と暑中、汗をふきふき頑張っています。『いちばん星』が入所者さまとご家族様と、職員との架け橋になればと今後も努めていきたいと思

編集後記

11月に入り、寒い日々が続きますが、星の郷職員一同、元気いっぱい働いています。暖房の効いたフロア内で働くのはとても大変なのですが、入所者さまを第一と暑中、汗をふきふき頑張っています。『いちばん星』が入所者さまとご家族様と、職員との架け橋になればと今後も努めていきたいと思



編集スタッフ

佐野恵里子 安部川陽子
森山由紀子 天野 昭子

貸借対照表

平成19年3月31日

社会福祉法人 富士宮福祉会

■資産の部		■負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	188,397	流動負債	25,601
現金預金	110,723	未払金	21,442
未収金	77,674	預り金	4,159
		固定負債	284,618
		設備資金借入金	281,100
		退職給与引当金	3,518
		負債合計	310,219
固定資産	1,261,355	■純資産の部	
基本財産	1,229,031	科 目	金 額
其他固定資産	32,324	基本金	261,334
構築物	1,683	国庫補助金等特別積立金	738,002
機械及び装置	12,808	其他の積立金	
車両運搬具	2,681	次期繰越活動収支差額	140,197
器具及び備品	11,634	(うち当期活動収支差額)	(-4,176)
其他固定資産	3,518	純資産合計	1,139,533
資産合計	1,449,752	負債・純資産合計	1,449,752

脚注
減価償却の累計額 291,660千円